

平成26年度事業報告書

〔 平成26年4月 1日から
平成27年3月31日まで 〕

目 次

I. 概 要	1
II. 理 事 会	2
III. 評 議 員 会	3
IV. 主要事業活動	4
1. 継続事業（産業技術人材交流事業）	
(1) 日韓中小企業ビジネス促進事業	
(2・3) 日韓部品素材調達・供給商談会	
(4) 日韓部品素材東京商談会	
(9) 先進企業技術交流事業 日本語教育	
(10) 先進企業技術交流事業 企業実習	
(11) 次世代理工系研究人材交流事業 SI	
(12) 次世代理工系研究人材交流事業 WI	
(14) 各種調査・研究事業	
(15) 財団ホームページ整備	
2. その他事業（日韓未来志向事業）	
(1) 環境・省エネルギー関連事業	
(2) 日韓海外・地域間産業連携事業 第三国展開事業	
(3) 日韓海外・地域間産業連携事業 九州・韓国経済交流会議	
(4) 日韓海外・地域間産業連携事業 九州・韓国医療介護連携事業	
(5) 日韓海外・地域間産業連携事業 北陸・韓国経済交流会議	
(6) 日韓経済連携関連事業 新産業貿易会議	
(7) 日韓経済連携関連事業 日韓経済人会議	
V. 日韓両財団「連絡協議会」及び「連絡協議会幹事会」の開催	18
VI. 事務局人事	21
VII. 財団主要活動	22

I. 概要

当財団設立後、事業を開始して以来22年が経過した。これまで日本政府、及び関係経済団体のご協力と日本側企業の多大なご支援により、韓国の中堅・中小企業の経営をはじめ多くの分野に於いて事業の成果が上がっている。この22年間で当財団の事業に参加した韓国人数、韓国企業数は、研究支援事業、セミナー等で5,533名、産業人の交流事業で1,570名、また生産性向上協力事業等を実施した企業は390社、また商談会等に参加した日本、韓国両国の企業数は1,980社を超える。

財団活動に対しては、年を重ねる毎に改めてその役割が認識され、今後の活動も期待されている。日韓両国政府、関係者から良い評価を頂き、また事業に参加した韓国企業の社員やセミナーの受講者からも、講師・専門家の助言や、指導内容が大変有益であったと感謝されている。

平成26年度は主に政府からの拠出金164,801千円（外務省20,321千円、経済産業省144,480千円）を得て運営並びに事業を実施した。

1. 当年度中、理事会3回、評議員会2回を開催し、財団運営の重要事項について審議、議決を行った。
2. 平成26年度は、平成25年度第3回理事会で承認された事業計画に従い下記事業を実施した。 【共同】：韓日財団との共同事業
 - 1) 継続事業（産業技術人材交流事業）9事業
 - (1) 日韓中小企業ビジネス促進事業 【共同】
 - (2・3) 日韓部品素材調達・供給商談会 【共同】
 - (4) 日韓部品素材東京商談会 【共同】
 - (9) 先進企業技術交流事業 日本語教育 【共同】
 - (10) 先進企業技術交流事業 企業実習 【共同】
 - (11) 次世代理工系研究人材交流事業 SI
 - (12) 次世代理工系研究人材交流事業 WI
 - (14) 各種調査・研究事業
 - (15) 財団ホームページ整備
 - 2) その他事業（日韓未来志向事業）7事業
 - (1) 環境・省エネルギー関連事業 【共同】
 - (2) 日韓海外・地域間産業連携事業 第三国展開事業 【共同】(財団・協会共同事業)
 - (3) 日韓海外・地域間産業連携事業 九州・韓国経済交流会議
 - (4) 日韓海外・地域間産業連携事業 九州・韓国医療介護連携事業
 - (5) 日韓海外・地域間産業連携事業 北陸・韓国経済交流会議
 - (6) 日韓経済連携関連事業 新産業貿易会議 (財団・協会共同事業)
 - (7) 日韓経済連携関連事業 日韓経済人会議 (財団・協会共同事業)

日韓国交正常化50周年を迎え、日韓共同の第三国展開事業、高齢化対策（医療介護技術連携事業）等を充実させてきた。今後、次の50年に向けて、青少年の交流・育成の強化、環境・観光、日韓オリンピックの相互協力への対応を更に充実させていく。

以上

Ⅱ. 理 事 会

今年度は3回の理事会を開催、表決が必要な事項については、すべて原案どおり異議なく可決承認された。各理事会の概要は以下のとおりである。

1. 第1回理事会

- 1) 日 時 平成26年6月6日(金) 午後3時30分～4時30分
- 2) 場 所 三菱商事ビル
- 3) 議 題 第1号議案 平成25年度事業報告書、財務諸表及び公益目的支出計画実施報告書の承認の件
第2号議案 常務理事選定の件
第3号議案 平成26年度第1回評議員会の招集の件
第4号議案 基本財産の戦略的活用
青少年交流事業のための基金設立に向けた方針伺いの件
オリンピック協力等
- 4) 報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務の執行の状況の報告

2. 第2回理事会 (決議の省略の方法による)

- 1) 理事会の決議があったものとみなされた日 平成26年11月17日(月)
- 2) 決議事項 第1号議案 平成26年度収支予算書の一部変更
第2号議案 諸規則集の改定の件

3. 第3回理事会 (決議の省略の方法による)

- 1) 理事会の決議があったものとみなされた日 平成27年3月27日(金)
- 2) 決議事項 第1号議案 平成27年度事業計画(案)承認の件
第2号議案 平成27年度収支予算(案)承認の件
第3号議案 職員退職金支給規則一部変更の件

以 上

Ⅲ. 評 議 員 会

今年度は2回の評議員会を開催、表決が必要な事項については、すべて原案どおり異議なく承認された。各評議員会の概要は以下のとおりである。

1. 第1回評議員会（決議の省略及び報告の省略の方法による）

- 1) 評議員会の決議並びに評議員会への報告があったものとみなされた日
平成26年6月17日（火）
- 2) 決議事項 第1号議案 平成25年度事業報告書、財務諸表及び公益目的支出計画
実施報告書の承認の件
- 3) 報告事項 ①平成26年度事業計画
②平成26年度収支予算

2. 第2回評議員会（報告の省略の方法による）

- 1) 評議員会への報告があったものとみなされた日 平成26年12月2日（火）
- 2) 報告事項 ①平成26年度収支予算書の一部変更
②諸規則集の改定の件

以 上

IV. 主要事業活動

事業名	1. 継続事業（産業技術人材交流事業） （1）日韓中小企業ビジネス促進事業 【共同事業】																																																																																					
事業内容	日韓間のビジネスを展開したいが言葉の壁、情報不足等で悩んでいる中小企業を支援して日韓ビジネス連携の促進を図り、中小企業のビジネス活動を支援する。 日韓でビジネスを希望する企業の個々の相談に応じて成約に至るまで助言・支援を日常的に行う。IT を活用して企業情報・商品情報をネット上で紹介し、韓国との製品・商品の売買、生産委託/受託、技術提携・事業提携等に関心のある企業を支援する。その手段として専用ビジネスマッチングサイト(日韓中小企業情報交流センター・JK-BIC)を運営し、ビジネス相談・企業情登録を常時可能とする。さらに個別商談を希望する企業同士の商談アレンジ・同行、アドバイス等を提供する。																																																																																					
実 施 状 況	支援した内容は以下の通りである。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">・パートナー探し <li style="width: 33%;">・企業調査、信用情報提供 <li style="width: 33%;">・コミュニケーション仲介/交渉 <li style="width: 33%;">・貿易実務の支援 <li style="width: 33%;">・ビジネス文書の翻訳 <li style="width: 33%;">・個別商談アレンジ・同行 <li style="width: 33%;">・韓国市場リサーチ <li style="width: 33%;">・韓国経済関連各種情報リサーチ・提供等 </div> <p>事業推進の為、専用 HP『http://jk-bic.jp/』を運営し、随時新しい情報を更新した。(平成 26 年度サイト閲覧数：16,928件)</p> <p>センターの利用促進の為、広報ツール(パンフレット、ポスター)を活用し、「韓国中小企業リスト(機械・機械部品)」の更新増刷を実施した。さらに中小企業を対象とした展示会へ出展(5回)し、積極的に広報活動とネットワークの充実を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">開催期間</th> <th style="width: 40%;">展示会名称</th> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014/6/25～6/27 (3日間)</td> <td>機械要素技術展 (M-Tech)</td> <td>東京</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2014/9/4～9/5 (2日間)</td> <td>神戸国際フロンティア産業メッセ</td> <td>神戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2014/10/15～10/17 (3日間)</td> <td>モノづくりフェア2014</td> <td>福岡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2014/11/5～11/8 (4日間)</td> <td>メッセナゴヤ2014</td> <td>名古屋</td> <td>韓日財団と共同出展</td> </tr> <tr> <td>2015/2/4～2/6 (3日間)</td> <td>テクニカルショウヨコハマ2015</td> <td>横浜</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【事業成果概要】</p> <p>言語・商習慣の違い等の壁を取り払い、質の高い情報を通じたビジネス交流を常時可能とし、「現地個別商談 38 件実施、成約 7 件」の成果を達成することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 33%;">成約件数：7 件</td> <td style="width: 33%;">輸入・調達：4 件</td> <td style="width: 33%;">輸出・供給：3 件</td> </tr> <tr> <td>個別商談実施件数：38 件</td> <td>日本企業による訪韓：27 件</td> <td>韓国企業による訪日：11 件</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">ビジネス相談件数</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本企業からの相談</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>韓国企業からの相談</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>														開催期間	展示会名称	場所	備考	2014/6/25～6/27 (3日間)	機械要素技術展 (M-Tech)	東京		2014/9/4～9/5 (2日間)	神戸国際フロンティア産業メッセ	神戸		2014/10/15～10/17 (3日間)	モノづくりフェア2014	福岡		2014/11/5～11/8 (4日間)	メッセナゴヤ2014	名古屋	韓日財団と共同出展	2015/2/4～2/6 (3日間)	テクニカルショウヨコハマ2015	横浜		成約件数：7 件	輸入・調達：4 件	輸出・供給：3 件	個別商談実施件数：38 件	日本企業による訪韓：27 件	韓国企業による訪日：11 件	ビジネス相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	日本企業からの相談	2	5	9	2	2	2	3	6	8	5	3	8	55	韓国企業からの相談	6	2	6	1	3	2	2	13	0	1	0	2	38
開催期間	展示会名称	場所	備考																																																																																			
2014/6/25～6/27 (3日間)	機械要素技術展 (M-Tech)	東京																																																																																				
2014/9/4～9/5 (2日間)	神戸国際フロンティア産業メッセ	神戸																																																																																				
2014/10/15～10/17 (3日間)	モノづくりフェア2014	福岡																																																																																				
2014/11/5～11/8 (4日間)	メッセナゴヤ2014	名古屋	韓日財団と共同出展																																																																																			
2015/2/4～2/6 (3日間)	テクニカルショウヨコハマ2015	横浜																																																																																				
成約件数：7 件	輸入・調達：4 件	輸出・供給：3 件																																																																																				
個別商談実施件数：38 件	日本企業による訪韓：27 件	韓国企業による訪日：11 件																																																																																				
ビジネス相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																									
日本企業からの相談	2	5	9	2	2	2	3	6	8	5	3	8	55																																																																									
韓国企業からの相談	6	2	6	1	3	2	2	13	0	1	0	2	38																																																																									

事業名	1. 継続事業（産業技術人材交流事業） （2・3）日韓部品素材調達・供給商談会（韓国開催） 【共同事業】 （4）日韓部品素材東京商談会（日本開催） 【共同事業】																							
事業内容	両国の中小企業連携による相互補完関係構築を目的として日韓中小企業商談会を2003年度から継続実施しており、その第22回を「日韓部品素材東京商談会」として東京にて、第23回を「日韓部品素材調達・供給商談会」としてソウルにて、日韓両国財団の共催事業として開催し、その運営を担当した。																							
実施状況	<p>1. 第23回 日韓中小企業商談会（日本企業訪韓、ソウル）</p> <p>1) 日程・場所：平成26年10月1日 ロッテホテルソウル2階「Crystal Ballroom」</p> <p>2) 開催形態：両財団主催（「日韓産業技術フェア2014」主要プログラムの一つとして実施） 後援：経済産業省（日本）、産業通商資源部（韓国）</p> <p>3) 主要日程：</p> <table border="1" data-bbox="363 862 1426 1122"> <tr> <td>9月30日(火)</td> <td>午後</td> <td>日本企業韓国到着、会場確認、日本企業交流会</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10月1日(水)</td> <td>9:30～10:20</td> <td>日韓産業技術フェア2014開会式、表彰式</td> </tr> <tr> <td>10:30～18:30</td> <td>商談会</td> </tr> <tr> <td>10月2日(木)</td> <td></td> <td>日本企業帰国</td> </tr> </table> <p>4) 商談会：日本企業24社、韓国企業100社が参加、合計176件の商談を実施。 4ヶ月後フォローアップ調査により、成約6件、商談継続中35件。 *日本企業コーディネート業務委託先：(株)矢野経済研究所</p> <p>2. 第22回 日韓中小企業商談会（韓国企業来日、東京）</p> <p>1) 日程・場所：平成26年7月17日 品川プリンスホテル・メインタワー「クリスタル24」</p> <p>2) 開催形態：両財団主催 後援：経済産業省（日本）、産業通商資源部（韓国）</p> <p>3) 主要日程：</p> <table border="1" data-bbox="363 1552 1407 1832"> <tr> <td>7月16日(水)</td> <td>午前</td> <td>韓国企業来日、展示会見学、参加企業交流会 (韓日財団の単独事業として実施)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7月17日(木)</td> <td>9:40～10:00</td> <td>開会式（両財団専務理事挨拶）</td> </tr> <tr> <td>10:00～18:00</td> <td>商談会実施（日韓財団が運営を主担当）</td> </tr> <tr> <td>7月18日(金)</td> <td></td> <td>韓国企業 帰国</td> </tr> </table> <p>4) 商談会：韓国企業21社、日本企業37社が参加し、合計145件の商談を実施。 5ヶ月後フォローアップ調査により、成約1件、商談継続中31件。 *日本企業コーディネート業務委託先：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)</p>		9月30日(火)	午後	日本企業韓国到着、会場確認、日本企業交流会	10月1日(水)	9:30～10:20	日韓産業技術フェア2014開会式、表彰式	10:30～18:30	商談会	10月2日(木)		日本企業帰国	7月16日(水)	午前	韓国企業来日、展示会見学、参加企業交流会 (韓日財団の単独事業として実施)	7月17日(木)	9:40～10:00	開会式（両財団専務理事挨拶）	10:00～18:00	商談会実施（日韓財団が運営を主担当）	7月18日(金)		韓国企業 帰国
9月30日(火)	午後	日本企業韓国到着、会場確認、日本企業交流会																						
10月1日(水)	9:30～10:20	日韓産業技術フェア2014開会式、表彰式																						
	10:30～18:30	商談会																						
10月2日(木)		日本企業帰国																						
7月16日(水)	午前	韓国企業来日、展示会見学、参加企業交流会 (韓日財団の単独事業として実施)																						
7月17日(木)	9:40～10:00	開会式（両財団専務理事挨拶）																						
	10:00～18:00	商談会実施（日韓財団が運営を主担当）																						
7月18日(金)		韓国企業 帰国																						

事業名	1. 継続事業（産業技術人材交流事業） （9）先進企業技術交流事業 日本語教育 【共同事業】
事業内容	日本企業での企業実習を効果的に遂行するために、韓国企業の中堅技術者の日本語コミュニケーション能力を向上させる目的で実施する事業であり、2014年度も日本で実施。（継続事業（10）企業実習とリンクして実施）
実施状況	<p>1. 期間及び人数</p> <p>（1）開講式 : 7月30日</p> <p>（2）日本語教育 : 7月31日～8月29日（30日間の合宿形式）</p> <p>（3）修了式 : 8月29日</p> <p>（4）参加人員 : 16名</p> <p>2. 実施要領</p> <p>（1）実施場所 : リプレフォーラム（東京都江東区大島7-37-11）</p> <p>（2）担当教師 : 延べ3名/日の教師によるローテーション授業</p> <p>（3）クラス編成 : 能力別に3クラス</p> <p>（4）教育時間 : 6日/週（月～土曜日）、7時間/日で4週間、合計171.5時間</p> <p>3. 実施内容</p> <p>（1）来日前に最低限必要と思われる項目につき自学自習出来るように学習課題を与えた。</p> <p>（2）7月31日に行った筆記試験とインタビューによる能力評価テストの結果に基づき、初級①クラス、初級②クラス及び中級クラスの3クラス編成とした。</p> <p>（3）クラス毎に、読む、書く、聞く、話す、の4能力向上のためのカリキュラムを設定し、視聴覚機器を使用する教育とした。</p> <p>（4）日本で日本語教育を行うという利点を活かし、クラス別に課外体験実習を行い、生きた日本語教育を行った。</p> <p>（5）8月28日には総まとめのテストを行った。</p> <p>4. 実施結果</p> <p>（1）全員が無事に所定の課程を修了したので、教育機関発行の「修了証書」を授与した。</p> <p>（2）教育開始時にかなりのレベル差があったため、以下のようにクラス毎に教育成果に違いが出た。（以下の成果は、読む・書く・聞く・話す、4項目についてのテスト結果をポイント評価（10ポイントが満点）し、4項目を総合評価した結果である。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級①クラス : 1.0 → 4.8 4.8倍の伸び ・初級②クラス : 2.7 → 7.3 2.7倍の伸び ・中級クラス : 7.3 → 9.5 1.3倍の伸び ・3クラス平均 : 3.7 → 7.2 1.9倍の伸び <p>（3）日本国内で実施したため、日本人と生きた日本語を話す機会も多く、日本文化にも触れ非常に好評であった。</p> <p>（4）受入企業アンケート調査結果では、9社が日本語コミュニケーション良好、3社が少々問題があったと回答。</p>

事業名	1. 継続事業（産業技術人材交流事業） （10）先進企業技術交流事業 企業実習 【共同事業】																																				
事業内容	韓国企業の中堅技術者を日本に招聘し、国内の日本企業において、技術・経営上の課題の解決を目的とした企業実習を実施。（継続事業（9）日本語教育とリンクして実施）																																				
実施状況	<p>1. 期間及び人数 (1) 入国及び歓迎会 : 7月30日 (2) オリエンテーション: 8月29日 (3) 企業実習: 8月31日（受入企業へ移動）～10月24日（帰国）（55日間） (4) 参加人員: 16名</p> <p>2. 内容 (1) 派遣企業、受入企業及び中堅技術者のそれぞれにメリットが出るような実習テーマと推進方法を計画し、受入企業と事前に意見交換を実施。 (2) 9月26日～28日、新大阪に実習生全員を集めて中間発表を実施。 (3) 10月23日、受入企業関係者の出席のもと、実習終了の報告会及び送別会を実施。 (4) 2015年2月27日にソウルで評価懇談会を実施。実習生10名が参加し、実習成果についての報告等を行った。</p> <p>3. 技術者派遣韓国企業（15社）及び受入日本企業（12社）</p> <table border="1" data-bbox="279 1052 1420 1691"> <thead> <tr> <th><派遣企業></th> <th><受入企業></th> <th><派遣企業></th> <th><受入企業></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 宇進製罐</td> <td>(株)東芝</td> <td>(9) (株)宇進産電</td> <td>(株)東芝</td> </tr> <tr> <td>(2) 株式会社 cotec</td> <td>大垣精工(株)</td> <td>(10) (株)和信 TECH</td> <td>(株)クライムエヌシーデー</td> </tr> <tr> <td>(3) 韓国 OMRON 電装(株)</td> <td>オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株)</td> <td>(11) 大同 HI-LEX 株式会社</td> <td>(株)ハイレックスコーポレーション</td> </tr> <tr> <td>(4) A&D 電子天秤(株)</td> <td>(株)エー・アンド・デイ</td> <td>(12) (株)瑞進 CAM</td> <td>日本ピストンリング(株)</td> </tr> <tr> <td>(5) アズビル韓国株式会社</td> <td>アズビル(株)</td> <td>(13) (株)国際精密</td> <td>大垣精工(株)</td> </tr> <tr> <td>(6) (株)宇進産電</td> <td>(株)神戸製鋼所</td> <td>(14) (株)新興精密</td> <td>大垣精工(株)</td> </tr> <tr> <td>(7) 又收 AMS 株式会社</td> <td>三輪精機(株)</td> <td>(15) 韓信工業株式会社</td> <td>大垣精工(株)</td> </tr> <tr> <td>(8) Pulmuone 食品(株)</td> <td>三好食品工業(株)</td> <td>(16) エスピーエスコーポレーション</td> <td>(株)東通</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 実習成果及びアンケート調査結果 (1) 日本語教育期間を含め、全員が無事に所定の課程を修了し帰国した。 (2) 実習生へのアンケート調査結果では、全員が実習内容に対して満足していると回答、今後は実習成果を業務に活用し、生産性向上、現場改善、製品設計、そして日本とのビジネスに役立てていきたい等の意見があった。 (3) 受入企業へのアンケート調査結果では、当事業の有効性や運営方法に肯定的な意見が多かった。</p>	<派遣企業>	<受入企業>	<派遣企業>	<受入企業>	(1) 宇進製罐	(株)東芝	(9) (株)宇進産電	(株)東芝	(2) 株式会社 cotec	大垣精工(株)	(10) (株)和信 TECH	(株)クライムエヌシーデー	(3) 韓国 OMRON 電装(株)	オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株)	(11) 大同 HI-LEX 株式会社	(株)ハイレックスコーポレーション	(4) A&D 電子天秤(株)	(株)エー・アンド・デイ	(12) (株)瑞進 CAM	日本ピストンリング(株)	(5) アズビル韓国株式会社	アズビル(株)	(13) (株)国際精密	大垣精工(株)	(6) (株)宇進産電	(株)神戸製鋼所	(14) (株)新興精密	大垣精工(株)	(7) 又收 AMS 株式会社	三輪精機(株)	(15) 韓信工業株式会社	大垣精工(株)	(8) Pulmuone 食品(株)	三好食品工業(株)	(16) エスピーエスコーポレーション	(株)東通
<派遣企業>	<受入企業>	<派遣企業>	<受入企業>																																		
(1) 宇進製罐	(株)東芝	(9) (株)宇進産電	(株)東芝																																		
(2) 株式会社 cotec	大垣精工(株)	(10) (株)和信 TECH	(株)クライムエヌシーデー																																		
(3) 韓国 OMRON 電装(株)	オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株)	(11) 大同 HI-LEX 株式会社	(株)ハイレックスコーポレーション																																		
(4) A&D 電子天秤(株)	(株)エー・アンド・デイ	(12) (株)瑞進 CAM	日本ピストンリング(株)																																		
(5) アズビル韓国株式会社	アズビル(株)	(13) (株)国際精密	大垣精工(株)																																		
(6) (株)宇進産電	(株)神戸製鋼所	(14) (株)新興精密	大垣精工(株)																																		
(7) 又收 AMS 株式会社	三輪精機(株)	(15) 韓信工業株式会社	大垣精工(株)																																		
(8) Pulmuone 食品(株)	三好食品工業(株)	(16) エスピーエスコーポレーション	(株)東通																																		

事業名	1. 継続事業（産業技術人材交流事業） （14）各種調査・研究事業															
事業内容	本事業は調査・広報事業の一部として、既に韓国で生産・営業活動を営んでいる日系進出企業の現地経営の高度化を支援すべく実施するものである。1999年以降、韓国経営研究会として2種の研究会を104回開催した。（ソウルジャパンクラブ(SJC)経営研究会支援）															
実施状況	在韓日系企業における経営技術向上のための、経営ノウハウの交流促進、韓国産業・経済等に関する学習の場を提供する。2014年度には次の2種類を実施した。															
	1) 企業経営研究会															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>場所</th> <th>日程</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回（通算40回） 「江原道地域の投資環境と景気状況」</td> <td>訪問先： ・原州医療機器テクハバー ・ヌガベスト社 ・トイダス社 ・平昌アルペンシア ・2018平昌五輪会場他</td> <td>6月26日（木） ～ 27日（金）</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	場所	日程	参加人数	第1回（通算40回） 「江原道地域の投資環境と景気状況」	訪問先： ・原州医療機器テクハバー ・ヌガベスト社 ・トイダス社 ・平昌アルペンシア ・2018平昌五輪会場他	6月26日（木） ～ 27日（金）	18名	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>第2回（通算41回） 「セマングム地域の投資環境と景気状況」</td> <td>訪問先： ・セマングム広報館 ・セアベスティル社 ・三養イケノム社 ・現代重工業群山 他</td> <td>11月13日（木） ～ 14日（金）</td> <td>23名</td> </tr> </tbody> </table>	第2回（通算41回） 「セマングム地域の投資環境と景気状況」	訪問先： ・セマングム広報館 ・セアベスティル社 ・三養イケノム社 ・現代重工業群山 他	11月13日（木） ～ 14日（金）	23名		
	テーマ	場所	日程	参加人数												
第1回（通算40回） 「江原道地域の投資環境と景気状況」	訪問先： ・原州医療機器テクハバー ・ヌガベスト社 ・トイダス社 ・平昌アルペンシア ・2018平昌五輪会場他	6月26日（木） ～ 27日（金）	18名													
第2回（通算41回） 「セマングム地域の投資環境と景気状況」	訪問先： ・セマングム広報館 ・セアベスティル社 ・三養イケノム社 ・現代重工業群山 他	11月13日（木） ～ 14日（金）	23名													
2) 経営研究セミナー																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>講師</th> <th>日時・場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回（通算63回） 「アジア発経営パラダイム」 ～世界を席卷する日韓中企業からの教え～</td> <td>①ソウル大学国際大学院 金顕哲 教授</td> <td>11月19日（水） 16:00～18:00 大韓商工会議所 会議室</td> <td>105名</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	講師	日時・場所	参加人数	第1回（通算63回） 「アジア発経営パラダイム」 ～世界を席卷する日韓中企業からの教え～	①ソウル大学国際大学院 金顕哲 教授	11月19日（水） 16:00～18:00 大韓商工会議所 会議室	105名								
テーマ	講師	日時・場所	参加人数													
第1回（通算63回） 「アジア発経営パラダイム」 ～世界を席卷する日韓中企業からの教え～	①ソウル大学国際大学院 金顕哲 教授	11月19日（水） 16:00～18:00 大韓商工会議所 会議室	105名													
本研究会の意義を確認するとともに、実施内容・実施方等改善への示唆を得ることができた。																
委託：ソウルジャパンクラブ（SJC）																

事業名	<p>1. 継続事業（産業技術人材交流事業） (15) 財団ホームページ整備</p>
事業内容	<p>財団パンフレットの更新、既存のホームページの充実及び更新等を通じて、財団事業に関する情報を積極的にPRしていく。</p>
実施状況	<p>日韓財団の「ホームページ（HP）」のより一層の充実を図り、随時新しい活動内容を情報開示すると共に、基幹データを整理した。</p> <p>財団の実績及び成果事例、各種事業報告書、決算書等もアップデートし、掲載した。</p> <p>また、各事業の終了時には、写真を取り込み結果報告などタイムリーに掲載する等、財団事業活動のPRに貢献した。</p> <p>入札に関しては財団事業の業務委託の案内（説明会含む）、及び選定結果を掲載し、周知した。</p>

事業名	2. その他事業（日韓未来志向事業） （1）環境・省エネルギー関連事業 【共同事業】																				
事業内容	<p>地球環境問題は全世界の企業に課せられた重要な問題である。韓国中小企業の経営者および技術系幹部を対象に先進的な日本企業の環境経営や省エネルギーへの対応などについての学習機会を提供し、今後の韓国製造業としての地球環境の永続的な改善・維持活動の参考にしていただくことを目的とした。</p> <p>（2014年度（第7回））今回で一応最終回とした。</p> <p>（1）対象：韓国製造業 中堅・中小企業 技術系経営幹部 14名</p> <p>（2）期間：6日（帰国日含む）</p> <p>（3）内容：a) 日本企業の省エネ・低コスト&環境経営への取り組みを知る b) 環境経営の基盤となり、生産性向上の基盤ともなる「5S」、「セル生産」を学ぶ</p>																				
実施状況	<p>1. 実施状況</p> <table border="1" data-bbox="272 707 1437 1608"> <tr> <td>期 間</td> <td>2014年10月6日（月）～10月11日（土）（来日～帰国）</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>ホテルクラウンパレス（福岡県北九州市小倉北区）</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>日 程</td> <td>内 容</td> </tr> <tr> <td>10/6(月)</td> <td>来日 1) オリエンテーション、事前質問への回答 2) 開講式 3) 歓迎懇親会</td> </tr> <tr> <td>10/7(火)</td> <td>1) 講義① 環境経営基礎理論 2) 事例研究①大企業の環境経営（TOTO アクアテクノ小倉工場）</td> </tr> <tr> <td>10/8(水)</td> <td>1) 展示会視察（エコテクノ2014、西日本総合展示場） 2) 大企業の環境経営とものづくり（日産自動車九州）</td> </tr> <tr> <td>10/9(木)</td> <td>1) 事例研究③中小企業の環境経営活動（村上精機工作所） 2) 事例研究④大企業の環境経営活動（三菱マテリアル九州工場）</td> </tr> <tr> <td>10/10(金)</td> <td>1) 事例研究⑤中小企業の環境配慮型工場運営（フジコー響工場） 2) チーム討論、発表会 3) 閉講式 4) 送別交流会</td> </tr> <tr> <td>10/11(土)</td> <td>帰国</td> </tr> </table> <p>2. 成果概要等</p> <p>技術系経営幹部を対象にして環境経営あるいは環境ビジネスに関連した5S活動、3Rビジネス、Eoアクション21等の環境経営ガイドライン紹介をコンテンツとした。今回の参加者は金型・電子部品／自動車部品関連企業から樹脂製造、産業用変圧器、建設機械製造などさまざまな業種の技術系経営幹部の方たちが多かった。今年度は、まとめとして3グループに分かれ、何を学んだか、何を自企業に展開しようとしたのか等をグループ内で討議し発表してもらったが、この研修の理解度アップと問題点の共有化が図れた内容となった。今回は事前に環境経営に関する実体験に基づく質問を集め、初日にその回答、アドバイスを行い、効率性を高めた。</p> <p style="text-align: right;">委託：（公財）北九州国際技術協力協会</p>	期 間	2014年10月6日（月）～10月11日（土）（来日～帰国）	場 所	ホテルクラウンパレス（福岡県北九州市小倉北区）	参加者	14名	日 程	内 容	10/6(月)	来日 1) オリエンテーション、事前質問への回答 2) 開講式 3) 歓迎懇親会	10/7(火)	1) 講義① 環境経営基礎理論 2) 事例研究①大企業の環境経営（TOTO アクアテクノ小倉工場）	10/8(水)	1) 展示会視察（エコテクノ2014、西日本総合展示場） 2) 大企業の環境経営とものづくり（日産自動車九州）	10/9(木)	1) 事例研究③中小企業の環境経営活動（村上精機工作所） 2) 事例研究④大企業の環境経営活動（三菱マテリアル九州工場）	10/10(金)	1) 事例研究⑤中小企業の環境配慮型工場運営（フジコー響工場） 2) チーム討論、発表会 3) 閉講式 4) 送別交流会	10/11(土)	帰国
期 間	2014年10月6日（月）～10月11日（土）（来日～帰国）																				
場 所	ホテルクラウンパレス（福岡県北九州市小倉北区）																				
参加者	14名																				
日 程	内 容																				
10/6(月)	来日 1) オリエンテーション、事前質問への回答 2) 開講式 3) 歓迎懇親会																				
10/7(火)	1) 講義① 環境経営基礎理論 2) 事例研究①大企業の環境経営（TOTO アクアテクノ小倉工場）																				
10/8(水)	1) 展示会視察（エコテクノ2014、西日本総合展示場） 2) 大企業の環境経営とものづくり（日産自動車九州）																				
10/9(木)	1) 事例研究③中小企業の環境経営活動（村上精機工作所） 2) 事例研究④大企業の環境経営活動（三菱マテリアル九州工場）																				
10/10(金)	1) 事例研究⑤中小企業の環境配慮型工場運営（フジコー響工場） 2) チーム討論、発表会 3) 閉講式 4) 送別交流会																				
10/11(土)	帰国																				

事業名	2. その他事業（日韓未来志向事業） （2）日韓海外・地域間産業連携事業 第三国展開事業 【共同事業】																
事業内容	1つの経済圏形成を目指す日韓両国による、お互いの強みを生かした経済連携の第三国での進出事例研究を行う。アジア圏を中心に日韓企業による共同進出（インフラ輸出／エネルギー獲得）の現場視察と研究発表、より一層の共同進出促進の可能性を探る。2014年度は両国財団、研究系の経済人参加により昨年、視察したミャンマーでより具体的な、研究ミッションを実施した。JETRO、KOTRA、日本の3メガバンク、新韓銀行、ミャンマー日本ティラワ開発、日系商社を訪問し、両国のミャンマー進出の現状、ティラワ工業団地への韓国企業入居促進の研究を行い、2015年度ソウルで予定するミャンマー報告会（ティラワ説明会含）につなげる。																
実施状況	1. 実施状況																
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">期 間</td> <td>2015年2月25日（水）～.2月28日（土）</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>ミャンマー連邦 ヤンゴン</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>日本側10名 韓国側2名 合計12名</td> </tr> <tr> <td>日 程</td> <td>内 容</td> </tr> <tr> <td>2/25(水)</td> <td>出発 成田空港ーミャンマー ヤンゴン空港 集合 @ヤンゴン チャトリウムホテル</td> </tr> <tr> <td>2/26(木)</td> <td>1) ヤンゴン市内 JETRO ヤンゴン事務所 2) " 東京三菱 UFJ 銀行ヤンゴン支店 3) " 三井住友銀行ヤンゴン事務所 4) " みずほ銀行ヤンゴン支店</td> </tr> <tr> <td>2/27(金)</td> <td>1) MJTD（ミャンマー・日本ティラワ開発）、三菱商事ヤンゴン事務所 2) 新韓銀行ヤンゴン事務所 3) ティラワ工業団地造成地、ティラワ港湾設備視察 4) 全ヒアリングまとめ 夜行便で帰国</td> </tr> <tr> <td>2/28(土)</td> <td>1) 成田到着</td> </tr> </table>	期 間	2015年2月25日（水）～.2月28日（土）	場 所	ミャンマー連邦 ヤンゴン	参加者	日本側10名 韓国側2名 合計12名	日 程	内 容	2/25(水)	出発 成田空港ーミャンマー ヤンゴン空港 集合 @ヤンゴン チャトリウムホテル	2/26(木)	1) ヤンゴン市内 JETRO ヤンゴン事務所 2) " 東京三菱 UFJ 銀行ヤンゴン支店 3) " 三井住友銀行ヤンゴン事務所 4) " みずほ銀行ヤンゴン支店	2/27(金)	1) MJTD（ミャンマー・日本ティラワ開発）、三菱商事ヤンゴン事務所 2) 新韓銀行ヤンゴン事務所 3) ティラワ工業団地造成地、ティラワ港湾設備視察 4) 全ヒアリングまとめ 夜行便で帰国	2/28(土)	1) 成田到着
	期 間	2015年2月25日（水）～.2月28日（土）															
	場 所	ミャンマー連邦 ヤンゴン															
	参加者	日本側10名 韓国側2名 合計12名															
	日 程	内 容															
	2/25(水)	出発 成田空港ーミャンマー ヤンゴン空港 集合 @ヤンゴン チャトリウムホテル															
	2/26(木)	1) ヤンゴン市内 JETRO ヤンゴン事務所 2) " 東京三菱 UFJ 銀行ヤンゴン支店 3) " 三井住友銀行ヤンゴン事務所 4) " みずほ銀行ヤンゴン支店															
	2/27(金)	1) MJTD（ミャンマー・日本ティラワ開発）、三菱商事ヤンゴン事務所 2) 新韓銀行ヤンゴン事務所 3) ティラワ工業団地造成地、ティラワ港湾設備視察 4) 全ヒアリングまとめ 夜行便で帰国															
	2/28(土)	1) 成田到着															
2. 成果概要等																	
<p>日韓の冷え切った政治的状況の中、日韓経済人による日韓経済連携第3国進出は政治的葛藤とは一線を画し、アジアの中で日韓両国がお互いの強みと弱みを相互補完しながら、他のグローバルプレイヤーの中で競争優位の経済活動を行う意味で1つのビジネスモデルである。今回はアジア最後のフロンティアとしてミャンマーに視察ミッションを派遣した昨年に引き続き、より内容を深化し、またティラワに代表される世界基準の工業団地に韓国企業を誘致する方策を探るため、上記訪問先でより具体的な質問事項を用意して訪問した。軽工業を中心に進出企業が日本より多い韓国であるが、本格的な工業団地に本格的に進出する企業は少ない。日本も含め、外資がミャンマーに進出する場合の様々な問題点とその解決策、ライセンスを受けた日本のメガバンクが新規進出してくる韓国企業へどのようなサービスが提供できるか、そして本格的なティラワ工業団地の優位性をヒアリングした。</p> <p>この視察を基に本年の新産業貿易会議、日韓経済人会議で発表予定である。また、2015年度にソウルでミャンマーにおける日韓経済連携、その中にティラワ工業団地入居促進の説明会を含め、実施予定である。</p>																	

事業名	2. その他事業（日韓未来志向事業） （3）日韓海外・地域間産業連携事業 九州・韓国経済交流会議											
事業内容	九州・韓国両国の交流を支援することにより、両国間の貿易・投資・産業協力を促進する。 「九州・韓国経済交流会議」は、両国政府、地方自治体、民間団体を中心に、1993年度より毎年度実施。（隔年で日本・韓国内で年1回開催）。今回で21回目を数える。											
実施状況	<table border="1" data-bbox="271 627 1436 1881"> <tr> <td data-bbox="271 627 518 683">期 間</td> <td data-bbox="518 627 1436 683">11月25日（火）15:30～18:00</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 683 518 739">場 所</td> <td data-bbox="518 683 1436 739">ホテルオークラJRハウステンボス</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 739 518 795">参加者</td> <td data-bbox="518 739 1436 795">107名の日韓の関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 795 518 840">日 程</td> <td data-bbox="518 795 1436 840">内 容</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 840 518 1881">11/25（火）</td> <td data-bbox="518 840 1436 1881"> 1) 挨拶 ①九州経済産業局 岸本 吉生 局長 ②産業通商資源部 通商協力局 李 相珍（イ・サンジン）局長 2) 議事 ①基調報告 （日）宮脇雅俊 九州経済連合会 副会長（十八銀行会長） （韓）李 鐘允 韓日経済協会 常勤副会長 ②セッション1 「韓・九州間の経済協力発展方案と展開方向：産業別の協力を中心に」 （発表者） 李 鴻培（イ・ホンペ） 東義大学校 教授 （代表質問者） 篠原 統 九州日韓経済交流会 理事長 加峯隆義 九州経済調査会 総務部次長 ③セッション2 「交流人口拡大に向けた平戸市の施策展開と課題」 （発表者） 黒田成彦 平戸市長 （代表質問者） 羅 道成（ナ・ドツ） 革新専門企業実用学会 会長 林 大永（リム・デヨン） 新亜細亜産学官協力機構 理事 3) 両国代表による総括 </td> </tr> </table>		期 間	11月25日（火）15:30～18:00	場 所	ホテルオークラJRハウステンボス	参加者	107名の日韓の関係者	日 程	内 容	11/25（火）	1) 挨拶 ①九州経済産業局 岸本 吉生 局長 ②産業通商資源部 通商協力局 李 相珍（イ・サンジン）局長 2) 議事 ①基調報告 （日）宮脇雅俊 九州経済連合会 副会長（十八銀行会長） （韓）李 鐘允 韓日経済協会 常勤副会長 ②セッション1 「韓・九州間の経済協力発展方案と展開方向：産業別の協力を中心に」 （発表者） 李 鴻培（イ・ホンペ） 東義大学校 教授 （代表質問者） 篠原 統 九州日韓経済交流会 理事長 加峯隆義 九州経済調査会 総務部次長 ③セッション2 「交流人口拡大に向けた平戸市の施策展開と課題」 （発表者） 黒田成彦 平戸市長 （代表質問者） 羅 道成（ナ・ドツ） 革新専門企業実用学会 会長 林 大永（リム・デヨン） 新亜細亜産学官協力機構 理事 3) 両国代表による総括
期 間	11月25日（火）15:30～18:00											
場 所	ホテルオークラJRハウステンボス											
参加者	107名の日韓の関係者											
日 程	内 容											
11/25（火）	1) 挨拶 ①九州経済産業局 岸本 吉生 局長 ②産業通商資源部 通商協力局 李 相珍（イ・サンジン）局長 2) 議事 ①基調報告 （日）宮脇雅俊 九州経済連合会 副会長（十八銀行会長） （韓）李 鐘允 韓日経済協会 常勤副会長 ②セッション1 「韓・九州間の経済協力発展方案と展開方向：産業別の協力を中心に」 （発表者） 李 鴻培（イ・ホンペ） 東義大学校 教授 （代表質問者） 篠原 統 九州日韓経済交流会 理事長 加峯隆義 九州経済調査会 総務部次長 ③セッション2 「交流人口拡大に向けた平戸市の施策展開と課題」 （発表者） 黒田成彦 平戸市長 （代表質問者） 羅 道成（ナ・ドツ） 革新専門企業実用学会 会長 林 大永（リム・デヨン） 新亜細亜産学官協力機構 理事 3) 両国代表による総括											

事業名	2. その他事業（日韓未来志向事業） （4）日韓海外・地域間産業連携事業 九州・韓国医療介護連携事業														
事業内容	「九韓医療介護連携フォーラム」を飯塚の医工学連携の仕組みの中に入れていただき、2012年度より立ち上げ本年度が3年計画の3年目に当たります。韓国からの訪日団による別府の介護施設泰生会見学、飯塚病院ならびに介護施設見学、さらには大邱から来日の雲耕財団と飯塚病院の交流等幅広い連携活動の後、ホテル日航福岡に281名の出席者をえてフォーラムを開催しました。来年度からは九韓経済交流会議の仕組みの中で商談会とフォーラムを実施する予定です。														
実施状況	<table border="1" data-bbox="271 604 1436 1948"> <tr> <td data-bbox="271 604 518 660">期 間</td> <td data-bbox="518 604 1436 660">2月4日（水）～2月6日（金）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 660 518 716">場 所</td> <td data-bbox="518 660 1436 716">ホテル日航福岡</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 716 518 772">参加者</td> <td data-bbox="518 716 1436 772">281名の日韓医療介護関係者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 772 518 828">日 程</td> <td data-bbox="518 772 1436 828">内 容</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 828 518 884">2/4(水)</td> <td data-bbox="518 828 1436 884">韓国の訪日団による別府の介護施設、泰生会見学</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 884 518 996">2/5(木)</td> <td data-bbox="518 884 1436 996">韓国の訪日団並びに雲耕財団（大邱）による飯塚病院、介護施設見学の後、飯塚病院と雲耕財団の間で連携の模索を行った。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 996 518 1948">2/6(金)</td> <td data-bbox="518 996 1436 1948"> <p>1) 日韓医療介護連携フォーラム</p> <p>①主催者挨拶（日）是永和夫 日韓産業技術協力財団専務理事 （韓）李 鐘允（イ・ジョンウン）韓日経済協会常勤副会長</p> <p>②基調講演 麻生泰 九州経済連合会会長</p> <p>③医療分野講演 テーマ「病院のTQM」 （日）福村文雄 飯塚病院 医療安全推進室室長 「AIH Total Quality Management」 （韓）翰林大学江南聖心病院 盧 龍均（ノ ヨンギョ）企画室長 「江南聖心病院経営改善活動」～Small But, Great～</p> <p>④介護分野講演 テーマ「介護人材の確保」 （日）社会福祉法人 泰生会 雨宮洋子 理事長「日本の介護人材の確保と育成」 （韓）社会福祉法人恵山怡養齋老人総合センター 張 峰碩（ジャン ホソク）施設長「韓国介護人材の確保と現状」 （日）国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 井上剛伸 部長 「福祉機器の研究開発について」 ～フィールド・ベスト・イノベーション～ （日）パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社 新規事業インキュベーショングループ アシストベッドプロジェクト 河上 日出生 プロジェクトリーダー 「介護現場の課題解決に向けて」 ～ロボット介護機器「リショーネ」商品化の取り組み～</p> <p>⑤日韓懇親会</p> </td> </tr> </table>	期 間	2月4日（水）～2月6日（金）	場 所	ホテル日航福岡	参加者	281名の日韓医療介護関係者	日 程	内 容	2/4(水)	韓国の訪日団による別府の介護施設、泰生会見学	2/5(木)	韓国の訪日団並びに雲耕財団（大邱）による飯塚病院、介護施設見学の後、飯塚病院と雲耕財団の間で連携の模索を行った。	2/6(金)	<p>1) 日韓医療介護連携フォーラム</p> <p>①主催者挨拶（日）是永和夫 日韓産業技術協力財団専務理事 （韓）李 鐘允（イ・ジョンウン）韓日経済協会常勤副会長</p> <p>②基調講演 麻生泰 九州経済連合会会長</p> <p>③医療分野講演 テーマ「病院のTQM」 （日）福村文雄 飯塚病院 医療安全推進室室長 「AIH Total Quality Management」 （韓）翰林大学江南聖心病院 盧 龍均（ノ ヨンギョ）企画室長 「江南聖心病院経営改善活動」～Small But, Great～</p> <p>④介護分野講演 テーマ「介護人材の確保」 （日）社会福祉法人 泰生会 雨宮洋子 理事長「日本の介護人材の確保と育成」 （韓）社会福祉法人恵山怡養齋老人総合センター 張 峰碩（ジャン ホソク）施設長「韓国介護人材の確保と現状」 （日）国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 井上剛伸 部長 「福祉機器の研究開発について」 ～フィールド・ベスト・イノベーション～ （日）パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社 新規事業インキュベーショングループ アシストベッドプロジェクト 河上 日出生 プロジェクトリーダー 「介護現場の課題解決に向けて」 ～ロボット介護機器「リショーネ」商品化の取り組み～</p> <p>⑤日韓懇親会</p>
期 間	2月4日（水）～2月6日（金）														
場 所	ホテル日航福岡														
参加者	281名の日韓医療介護関係者														
日 程	内 容														
2/4(水)	韓国の訪日団による別府の介護施設、泰生会見学														
2/5(木)	韓国の訪日団並びに雲耕財団（大邱）による飯塚病院、介護施設見学の後、飯塚病院と雲耕財団の間で連携の模索を行った。														
2/6(金)	<p>1) 日韓医療介護連携フォーラム</p> <p>①主催者挨拶（日）是永和夫 日韓産業技術協力財団専務理事 （韓）李 鐘允（イ・ジョンウン）韓日経済協会常勤副会長</p> <p>②基調講演 麻生泰 九州経済連合会会長</p> <p>③医療分野講演 テーマ「病院のTQM」 （日）福村文雄 飯塚病院 医療安全推進室室長 「AIH Total Quality Management」 （韓）翰林大学江南聖心病院 盧 龍均（ノ ヨンギョ）企画室長 「江南聖心病院経営改善活動」～Small But, Great～</p> <p>④介護分野講演 テーマ「介護人材の確保」 （日）社会福祉法人 泰生会 雨宮洋子 理事長「日本の介護人材の確保と育成」 （韓）社会福祉法人恵山怡養齋老人総合センター 張 峰碩（ジャン ホソク）施設長「韓国介護人材の確保と現状」 （日）国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 井上剛伸 部長 「福祉機器の研究開発について」 ～フィールド・ベスト・イノベーション～ （日）パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社 新規事業インキュベーショングループ アシストベッドプロジェクト 河上 日出生 プロジェクトリーダー 「介護現場の課題解決に向けて」 ～ロボット介護機器「リショーネ」商品化の取り組み～</p> <p>⑤日韓懇親会</p>														

事業名	2. その他事業（日韓未来志向事業） （5）日韓海外・地域間産業連携事業 北陸・韓国経済交流会議																		
事業内容	日韓両国の地域間交流を支援することにより、両国間の貿易・投資・産業協力を促進する。 「北陸・韓国経済交流会議」は、両国政府、地方自治体、民間団体を中心に、2000年度より毎年実施（日本・韓国交互に毎年1回開催）。本年度は日本・石川県にて開催。																		
実施状況	<p>「第15回北陸・韓国経済交流会議」</p> <p>1) 開催日：平成26年9月17日（水）～18日（木）</p> <p>2) 開催場所：日本 石川県 七尾市 和倉温泉「あへの風」</p> <p>3) 参加者数：日本側 135名（企業 46社、59名） 韓国側 41名（企業 5社、5名） 計 176名</p> <p><主な参加者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本側：中部経済産業局、国土交通省、石川県、富山県、福井県、金沢市、七尾市、北陸経済連合会、石川県商工会議所連合会、金沢商工会議所、七尾商工会議所、石川県日韓親善協会、環日本海経済交流センター、中小企業基盤整備機構、富山県国際経済交流推進協議会、福井商工会議所、北陸経済研究所、北陸産業活性化センター、国際協力機構(JICA)、日本貿易振興機構(JETRO)、日韓産業技術協力財団、企業、大学、研究機関など ・韓国側：産業通商資源部、駐日大韓民国大使館、大邱広域市、蔚山広域市、江原道、慶尚北道、韓日経済協会、大韓貿易投資振興公社、企業、大学、研究機関など <p>4) 会議プログラム構成：</p> <table border="1" data-bbox="336 1346 1437 1899"> <tr> <td rowspan="3">9月17日(水)</td> <td>午前</td> <td>韓国訪問団来日（小松空港）</td> </tr> <tr> <td>13:00～15:30</td> <td>工場見学（コマツ栗津工場～北陸新幹線車両所）</td> </tr> <tr> <td>18:30～20:30</td> <td>歓迎交流会（「あへの風」宴会場）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">9月18日(木)</td> <td>9:00～11:50</td> <td>第15回北陸・韓国経済交流会議 開会、全体会議</td> </tr> <tr> <td>13:15～15:30</td> <td>専門分科会：①ソーシャルイノベーションによる地方創生 ②複合医療</td> </tr> <tr> <td>16:30～16:45</td> <td>石川県知事表敬訪問（代表団のみ）</td> </tr> <tr> <td>9月19日(金)</td> <td>午前</td> <td>韓国訪問団 兼六園見学～帰国（小松空港）</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">* 日本側事務局：北陸環日本海経済交流促進協議会（北陸AJEC）</p>		9月17日(水)	午前	韓国訪問団来日（小松空港）	13:00～15:30	工場見学（コマツ栗津工場～北陸新幹線車両所）	18:30～20:30	歓迎交流会（「あへの風」宴会場）	9月18日(木)	9:00～11:50	第15回北陸・韓国経済交流会議 開会、全体会議	13:15～15:30	専門分科会：①ソーシャルイノベーションによる地方創生 ②複合医療	16:30～16:45	石川県知事表敬訪問（代表団のみ）	9月19日(金)	午前	韓国訪問団 兼六園見学～帰国（小松空港）
9月17日(水)	午前	韓国訪問団来日（小松空港）																	
	13:00～15:30	工場見学（コマツ栗津工場～北陸新幹線車両所）																	
	18:30～20:30	歓迎交流会（「あへの風」宴会場）																	
9月18日(木)	9:00～11:50	第15回北陸・韓国経済交流会議 開会、全体会議																	
	13:15～15:30	専門分科会：①ソーシャルイノベーションによる地方創生 ②複合医療																	
	16:30～16:45	石川県知事表敬訪問（代表団のみ）																	
9月19日(金)	午前	韓国訪問団 兼六園見学～帰国（小松空港）																	

事業名	2. その他事業（日韓未来志向事業） （7）日韓経済連携関連事業 日韓経済人会議								
事業内容	日韓経済人会議は日韓の経済人が両国共通の問題を取り上げ議論し両国政府に対する提言をまとめる場として回数を重ね今回で46回目を迎える日韓有数の会議として定着している。日韓経済協会、日韓産業技術協力財団と韓日経済協会、韓日産業・技術協力財団の共催で行われた。								
実施状況	1. 実施状況								
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="271 504 518 548">期 間</td> <td data-bbox="518 504 1444 548">2014年5月13日（火）～5月15日（木）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 548 518 593">場 所</td> <td data-bbox="518 548 1444 593">ホテルオークラ東京</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 593 518 649">参加者</td> <td data-bbox="518 593 1444 649">両国合わせて約304人の経済人が参加</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 649 518 705">日 程</td> <td data-bbox="518 649 1444 705">内 容</td> </tr> </table>	期 間	2014年5月13日（火）～5月15日（木）	場 所	ホテルオークラ東京	参加者	両国合わせて約304人の経済人が参加	日 程	内 容
	期 間	2014年5月13日（火）～5月15日（木）							
	場 所	ホテルオークラ東京							
	参加者	両国合わせて約304人の経済人が参加							
日 程	内 容								
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="271 705 518 884">5/13(火)</td> <td data-bbox="518 705 1444 884"> (韓国側代表団による表敬訪問) 1) 茂木敏充 経済産業大臣 2) 額賀福志郎 日韓議員連盟会長 3) 安倍晋三 内閣総理大臣 4) 岸田文雄 外務大臣 </td> </tr> </table>	5/13(火)	(韓国側代表団による表敬訪問) 1) 茂木敏充 経済産業大臣 2) 額賀福志郎 日韓議員連盟会長 3) 安倍晋三 内閣総理大臣 4) 岸田文雄 外務大臣							
5/13(火)	(韓国側代表団による表敬訪問) 1) 茂木敏充 経済産業大臣 2) 額賀福志郎 日韓議員連盟会長 3) 安倍晋三 内閣総理大臣 4) 岸田文雄 外務大臣								
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="271 884 518 1422">5/14(水)</td> <td data-bbox="518 884 1444 1422"> 1) 麻生太郎 財務大臣表敬 (日韓経済人会議) 2) 団長挨拶 (日) 佐々木幹夫会長、(韓) 金鉦会長 3) 来賓挨拶 (日) 磯崎仁彦 経済産業大臣政務官 (韓) 李 丙琪 (イ・ビョンギ) 駐日大韓民国特命全権大使 (日) 米倉弘昌 日本経済団体連合会会長 (韓) 尹 相直 (ユン・サンジク) 産業通商資源部長官 (代読 洪 東昊 (ホン・ドンホ) 経済公使) 4) 基調講演 (日) 額賀福志郎 衆議院議員 日韓議員連盟会長 (韓) 許 昌秀 (ホ・チャンス) 全国経済人連合会会長 5) 顕彰/表彰 故瀬戸雄三 元日韓経済協会会長 康 時雨 (カン・シウ) 創業振興院院長 6) 新産業貿易会議経過報告 (日) 麻生 泰 チェアマン (韓) 安 宗原 (アン・ジョンウオン) チェアマン 7) 協会の一般経過報告 是永和夫 日韓経済協会 専務理事 8) レセプション </td> </tr> </table>	5/14(水)	1) 麻生太郎 財務大臣表敬 (日韓経済人会議) 2) 団長挨拶 (日) 佐々木幹夫会長、(韓) 金鉦会長 3) 来賓挨拶 (日) 磯崎仁彦 経済産業大臣政務官 (韓) 李 丙琪 (イ・ビョンギ) 駐日大韓民国特命全権大使 (日) 米倉弘昌 日本経済団体連合会会長 (韓) 尹 相直 (ユン・サンジク) 産業通商資源部長官 (代読 洪 東昊 (ホン・ドンホ) 経済公使) 4) 基調講演 (日) 額賀福志郎 衆議院議員 日韓議員連盟会長 (韓) 許 昌秀 (ホ・チャンス) 全国経済人連合会会長 5) 顕彰/表彰 故瀬戸雄三 元日韓経済協会会長 康 時雨 (カン・シウ) 創業振興院院長 6) 新産業貿易会議経過報告 (日) 麻生 泰 チェアマン (韓) 安 宗原 (アン・ジョンウオン) チェアマン 7) 協会の一般経過報告 是永和夫 日韓経済協会 専務理事 8) レセプション							
5/14(水)	1) 麻生太郎 財務大臣表敬 (日韓経済人会議) 2) 団長挨拶 (日) 佐々木幹夫会長、(韓) 金鉦会長 3) 来賓挨拶 (日) 磯崎仁彦 経済産業大臣政務官 (韓) 李 丙琪 (イ・ビョンギ) 駐日大韓民国特命全権大使 (日) 米倉弘昌 日本経済団体連合会会長 (韓) 尹 相直 (ユン・サンジク) 産業通商資源部長官 (代読 洪 東昊 (ホン・ドンホ) 経済公使) 4) 基調講演 (日) 額賀福志郎 衆議院議員 日韓議員連盟会長 (韓) 許 昌秀 (ホ・チャンス) 全国経済人連合会会長 5) 顕彰/表彰 故瀬戸雄三 元日韓経済協会会長 康 時雨 (カン・シウ) 創業振興院院長 6) 新産業貿易会議経過報告 (日) 麻生 泰 チェアマン (韓) 安 宗原 (アン・ジョンウオン) チェアマン 7) 協会の一般経過報告 是永和夫 日韓経済協会 専務理事 8) レセプション								
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="271 1422 518 1982">5/15(木)</td> <td data-bbox="518 1422 1444 1982"> 1) 第1セッション「21世紀をアジアの世紀に」 (日) 亀崎英敏 ABAC 委員 (韓) 金 道薫 (キム・ドフン) 産業研究院院長 (日) 安原貴彦 みずほ銀行執行役員 (韓) 朴 相鐵 (パク・サンチョル) 韓国産業技術大学校教授 2) 第2セッション「2015日韓国交正常化50周年、次の50年に向けた未来志向の日韓関係の構築」 (日) 石山博嗣 SJC 理事長 (韓) 辛 廷植 (シン・ジンシク) 前エネルギー経済研究院院長 (日) 岡部正博 麻生介護サービス取締役 (韓) 崔 創喜 (チェ・チュンヒ) 野村総合研究所ソウル Executive Partner (韓) 呉 泰憲 (オ・テホン) 慶熙 Cyber 大学校教授 3) 共同声明採択 ①冷え込んだ日韓関係ではあるが両国の経済人は今後共日韓両国を繋ぐ糸として友好拡大の為に貢献していくことを確認 ②第三国共同進出、青少年交流、医療介護、エネルギー共同確保、環境問題、平昌・東京五輪での協力を進めていくことで合意した </td> </tr> </table>	5/15(木)	1) 第1セッション「21世紀をアジアの世紀に」 (日) 亀崎英敏 ABAC 委員 (韓) 金 道薫 (キム・ドフン) 産業研究院院長 (日) 安原貴彦 みずほ銀行執行役員 (韓) 朴 相鐵 (パク・サンチョル) 韓国産業技術大学校教授 2) 第2セッション「2015日韓国交正常化50周年、次の50年に向けた未来志向の日韓関係の構築」 (日) 石山博嗣 SJC 理事長 (韓) 辛 廷植 (シン・ジンシク) 前エネルギー経済研究院院長 (日) 岡部正博 麻生介護サービス取締役 (韓) 崔 創喜 (チェ・チュンヒ) 野村総合研究所ソウル Executive Partner (韓) 呉 泰憲 (オ・テホン) 慶熙 Cyber 大学校教授 3) 共同声明採択 ①冷え込んだ日韓関係ではあるが両国の経済人は今後共日韓両国を繋ぐ糸として友好拡大の為に貢献していくことを確認 ②第三国共同進出、青少年交流、医療介護、エネルギー共同確保、環境問題、平昌・東京五輪での協力を進めていくことで合意した							
5/15(木)	1) 第1セッション「21世紀をアジアの世紀に」 (日) 亀崎英敏 ABAC 委員 (韓) 金 道薫 (キム・ドフン) 産業研究院院長 (日) 安原貴彦 みずほ銀行執行役員 (韓) 朴 相鐵 (パク・サンチョル) 韓国産業技術大学校教授 2) 第2セッション「2015日韓国交正常化50周年、次の50年に向けた未来志向の日韓関係の構築」 (日) 石山博嗣 SJC 理事長 (韓) 辛 廷植 (シン・ジンシク) 前エネルギー経済研究院院長 (日) 岡部正博 麻生介護サービス取締役 (韓) 崔 創喜 (チェ・チュンヒ) 野村総合研究所ソウル Executive Partner (韓) 呉 泰憲 (オ・テホン) 慶熙 Cyber 大学校教授 3) 共同声明採択 ①冷え込んだ日韓関係ではあるが両国の経済人は今後共日韓両国を繋ぐ糸として友好拡大の為に貢献していくことを確認 ②第三国共同進出、青少年交流、医療介護、エネルギー共同確保、環境問題、平昌・東京五輪での協力を進めていくことで合意した								

V. 日韓両財団「連絡協議会」及び「連絡協議会幹事会」の開催

1992年6月に日韓両国政府間で合意された「日韓貿易不均衡是正等のための具体的実践計画」の中で両国の「産業技術協力財団」が協力して業務を実施していくよう連絡協議会を設置することが定められており、その下部機関として幹事会を設け、必要により随時協議することとなっている。

1. 第21回連絡協議会は下記のとおり開催、朝食をとりながらの自由討議

日 時：2014年5月15日（木）

場 所：ホテルオークラ東京 本館2階 清流

出席者：

（日本側）

委員長	佐々木幹夫	理事長
委員	麻生 泰	日韓経済協会副会長
〃	上田 勝弘	副理事長
〃	徳植 桂治	副理事長
〃	水野 雄氏	副理事長
〃	小泉 慎一	日韓経済協会副会長
〃	石山 博嗣	SJC 理事長
〃	是永 和夫	専務理事
〃	今井 哲郎	理事 事業第二部長
事務局	山崎 弘	常務理事
〃	木村慎一郎	事業第一部長

（韓国側）

委員長	金 鉦	理事長
委員	李 潤 雨	韓日経済協会 顧問
〃	金 熙 勇	韓日経済協会 副会長
〃	徐 敏 錫	韓日経済協会 副会長
〃	趙 顯 俊	韓日経済協会 副会長
〃	李 泳 官	韓日経済協会 常任理事
〃	安 宗 原	韓日産業貿易会議 Chairman
〃	李 鐘 允	専務理事
事務局	宋 成 基	日本経済研究センター長
〃	張 震 旭	産業協力室長
〃	田 在 鎔	日本経済研究センター チーム長

2. 第22回連絡協議会幹事会は下記の通り開催された。

日 時：2014年7月8日（火）全体会議

9日（水）事業単位分科会

場 所：三菱商事ビル

出席者：

（日本側）

主 査	是永 和夫	日韓財団 専務理事 事務局長
委 員	杉山 茂夫	日韓財団 常務理事
〃	今井 哲郎	日韓財団 常務理事 事業第二部長
〃	木村慎一郎	日韓財団 事業第一部長
〃	初瀬川 茂	日韓財団 事業第三部長
〃	奥山 貞三	日韓財団 総務部長
〃	杉原 景	日韓財団 日韓中小企業情報交流センター 課長
Observer	丸山 浩平	外務省 アジア大洋州局 日韓経済室長
〃	中山 正幸	経済産業省 通商政策局 韓国室 課長補佐
〃	伊藤 彩菜	経済産業省 通商政策局 韓国室

（韓国側）

代表委員	李 鐘 允	韓日財団 専務理事
委 員	宋 成 基	韓日財団 産業協力室長 日本経済研究センター長
〃	李 炳 國	韓日財団 対外協力室 総務会計チーム長
〃	張 允 鍾	韓日財団 産業協力室 技術支援チーム長
〃	劉 崇 勳	韓日財団 産業協力室 企業マッチングチーム長
〃	金 度 勳	韓日財団 産業協力室 人材養成チーム長
〃	田 在 鎔	韓日財団 日本経済研究センター 通商協力チーム長
Observer	姜 明 秀	駐日大韓民国大使館 公使参事官
〃	文 準 善	駐日大韓民国大使館 一等書記官

全体会議 議題

- (1) 2014年度共同事業中間報告
- (2) 2015年度共同事業を含む事業計画方針説明
- (3) 2015年度の第三国展開について

3. 第22回連絡協議会幹事会実務者会議は下記の通り開催された。

日 時：2014年11月11日（火）全体会議・事業単位分科会(1)

12日（水）事業単位分科会(2)・全体会議

場 所：韓日財団会議室

出席者：

(日本側)

委 員	今井 哲郎	日韓財団 常務理事 事業第二部長
〃	木村慎一郎	日韓財団 事業第一部長
〃	初瀬川 茂	日韓財団 事業第三部長
〃	奥山 貞三	日韓財団 総務部長
〃	杉原 景	日韓財団 日韓中小企業情報交流センター 課長

(韓国側)

委 員	宋 成 基	韓日財団 日本経済研究センター長
〃	趙 德 卯	韓日経済協会 事務局長
〃	劉 崇 勳	韓日財団 産業協力室 室長
〃	張 震 旭	韓日財団 産業協力室 企業マッチングチーム長
〃	金 度 勳	韓日財団 産業協力室 人材養成チーム長
〃	田 在 鎔	韓日財団 日本経済研究センター チーム長
〃	李 丞 赫	韓日財団 対外協力室 課長

全体会議 議題

- (1) 2014年度共同事業推進状況説明
- (2) 2015年度共同事業を含む事業計画方針説明
- (3) 上記事業計画及び説明に伴う協議
- (4) 連絡協議会の在り方

以 上

VI. 事務局人事

平成26年 6月 6日 今井哲郎理事が常務理事に就任

12月31日 奥山貞三総務部長が退職

平成27年 1月 1日 伊藤美千代総務部次長が総務部長に就任

VII. 財 団 主 要 活 動

月 日	事 項
平成26年	
4月 7日(月)	「先進企業技術交流事業」応募技術者面接選考及び審議会実施。(於：韓日財団会議室、今井理事出席、8日まで)
5月 7日(水)	「第46回日韓経済人会議」結団式開催。(於：経団連会館)
14日(水)	「第46回日韓経済人会議」開催。(於：ホテルオークラ東京、15日まで)
6月 6日(金)	平成26年度第1回理事会 (於：三菱商事会議室) 決議事項 第1号議案 平成25年度事業報告書、財務諸表及び公益目的支出計画実施報告書の承認の件 第2号議案 常務理事選定の件 第3号議案 平成26年度第1回評議員会の招集の件 第4号議案 基本財産の戦略的活用 青少年交流事業のための基金設立に向けた方針伺いの件 オリンピック協力等
17日(火)	平成26年度第1回評議員会 (決議の省略及び報告の省略の方法による) 決議事項 第1号議案 平成25年度事業報告書、財務諸表及び公益目的支出計画実施報告書の承認の件 報告事項 ①平成26年度事業計画 ②平成26年度収支予算
24日(火)	杉原課長、金熙姫職員が「第18回機械要素技術展(M-Tech)」で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。(於：東京ビッグサイト、27日まで)
25日(水)	是永専務理事、木村部長が「第3回国視察ミッション」の打合せ及びテーマ検討のため、韓国ソウル・平昌に出張。(28日まで)
7月 2日(水)	「第22回日韓中小企業商談会」事前説明会実施。(於：東京国際フォーラム会議室、初瀬川部長出席)
8日(火)	第22回日韓・韓日両財団連絡協議会幹事会開催。 (於：三菱商事会議室、日本側は外務省・経済産業省・日韓財団、韓国側は駐日本国大韓民国大使館・韓日財団出席)
9日(水)	第22回日韓・韓日両財団連絡協議会幹事会分科会実施。(於：三菱商事会議室、日韓両財団事業関係者出席)
17日(木)	「第22回日韓中小企業商談会」開催。(於：品川プリンスホテル)
29日(火)	「第7回 Summer Institute」開講式開催。(於：永東ホテル、日本側大学院生4名、奥山部長、韓日財団、JISTEC 出席)

月 日	事 項
7月30日(水)	「先進企業技術交流事業」実習生16名、韓国より来日。 開講式及び歓迎会開催。(於：喜山倶楽部(日本教育会館内)、実習生、外務省、経済産業省、日本語学校、韓日財団、今井常務理事、大本課長代理、梶山職員出席)
31日(木)	「先進企業技術交流事業」日本語教育クラス分けテスト及びオリエンテーション等実施。(於：リフレフォーラム(江東区大島))
8月 1日(金)	初瀬川部長が「第15回北陸・韓国経済交流会議」関係者会議に出席。 (於：北陸 AJEC 会議室)
29日(金)	「先進企業技術交流事業」日本語教育修了式実施。(於：リフレフォーラム(江東区大島)、実習生16名、今井常務理事、梶山職員、韓日財団、青山国際教育学院(日本語教育機関)出席) 続いて企業実習オリエンテーション実施。(於：リフレフォーラム、今井常務理事、梶山職員、韓日財団実施)
31日(日)	「先進企業技術交流事業」実習生16名、受入企業指定の宿泊施設に移動。
9月 1日(月)	「先進企業技術交流事業」企業実習開始。
4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・「第7回 Summer Institute」報告会・修了式開催。(於：永東ホテル、日本側大学院生4名、指導教官4名、今井常務理事、奥山部長、韓日財団、JISTEC 出席) ・杉原課長、金熙姫職員が「国際フロンティア産業メッセ2014」で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。(於：神戸国際展示場、5日まで)
12日(金)	「第23回日韓中小企業商談会」事前説明会実施。(於：ベルサール新宿グランド、今井常務理事、初瀬川部長、杉原課長出席)
17日(水)	是永専務理事、初瀬川部長が「第15回北陸・韓国経済交流会議」に出席。(於：和倉温泉、18日まで)
26日(金)	「先進企業技術交流事業」中間発表会開催。(於：チサンホテル新大阪、実習生16名、今井常務理事、韓日財団出席、28日まで)
10月 1日(水)	「日韓産業技術フェア2014」の主要プログラムとして「第23回日韓中小企業商談会」実施。(於：ロッテホテルソウル、佐々木理事長、是永専務理事、今井常務理事、初瀬川部長、木村部長、杉原課長出席)
6日(月)	「環境・省エネルギー技術者交流セミナー」実施。(於：ホテルクラウンパレス小倉他、是永専務理事、今井常務理事、木村部長出席、11日まで)
15日(水)	杉原課長、金熙姫職員が「モノづくりフェア2014」で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。(於：マリンメッセ福岡、17日まで)
20日(月)	木村部長、須藤部長が「第3国視察ミッション」の打合せのためフィリピンに出張。(24日まで)
21日(火)	「先進企業技術交流事業」企業実習終了。

月 日	事 項
10月22日(水)	板垣公認会計士による中間監査。(1日目)
23日(木)	「先進企業技術交流事業」報告会開催。(於：喜山倶楽部(日本教育会館内)、実習生16名、実習生受入企業、日本語教育機関、韓日財団、今井常務理事、大本課長代理、梶山職員出席) 送別会開催。(於：喜山倶楽部、報告会出席者の他、外務省、駐日本国大韓民国大使館出席)
24日(金)	・板垣公認会計士による中間監査。(2日目) ・「先進企業技術交流事業」実習生16名、韓国に帰国。
31日(金)	「第22回 Winter Institute」オリエンテーション実施。(於：韓国研究財団(NRF)会議室、奥山部長出席)
11月 5日(水)	杉原課長、金熙姫職員が「メッセナゴヤ2014」で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。(於：ポートメッセなごや、8日まで)
11日(火)	第22回日韓・韓日両財団連絡協議会幹事会実務者会議開催。(於：韓日財団会議室、日韓財団5名、韓日財団8名出席、12日まで)
17日(月)	平成26年度第2回理事会(決議の省略の方法による) 決議事項 第1号議案 平成26年度収支予算書の一部変更 第2号議案 諸規則集の改定の件
25日(火)	・今井常務理事、初瀬川部長が「第21回九州・韓国経済交流会議」に出席。(於：ホテルオークラ JR ハウステンボス、26日まで) ・是永専務理事、木村部長、須藤部長が「第3国視察ミッション」の打合せのためフィリピンに出張。(28日まで)
30日(日)	木村部長、須藤部長が「第3国視察ミッション」の打合せのためミャンマーに出張。(12月2日まで)
12月 2日(火)	平成26年度第2回評議員会(報告の省略の方法による) 報告事項 ①平成26年度収支予算書の一部変更 ②諸規則集の改定の件
4日(木)	サポーター懇親夕食会開催。(於：三菱クラブ)
7日(日)	是永専務理事、木村部長、須藤部長が第三国視察ミッションの打合せのためミャンマーに出張。(9日まで)
8日(月)	今井常務理事が「第3回九州・韓国医療・介護連携フォーラム」の打合せのため、飯塚病院、九州経済産業局他訪問。(9日まで)
24日(水)	今井常務理事が「第3回九州・韓国医療・介護連携フォーラム」の打合せのため、飯塚病院他訪問。(25日まで)

月 日	事 項
平成27年	
1月16日(金)	「第22回 Winter Institute」研究生来日、開講式開催。(於：つくば二の宮ハウス、研究生3名、今井常務理事、大本課長代理、韓国研究財団、JISTEC 出席)
21日(水)	新春賀詞交歓会開催。(於：三菱クラブ、日韓経済協会と共催、佐々木理事長を始め多数出席)
23日(金)	「第24回日韓中小企業商談会」、「第25回日韓中小企業商談会」の入札に関する事業説明会開催。(於：日韓財団会議室、初瀬川部長、杉原課長、梶山職員出席)
2月 4日(水)	杉原課長、金熙姫職員が「テクニカルショウヨコハマ2015」で広報及び日韓ビジネス相談受付実施。(於：於：パシフィコ横浜、6日まで)
6日(金)	「第3回九韓(九州・韓国)医療・介護連携フォーラム」開催。(於：ホテル日航福岡、是永専務理事、今井常務理事、木村部長、伊藤部長、須藤部長出席)
10日(火)	杉原課長が韓国京畿道にて日韓企業間のビジネスマッチング実施。
11日(水)	初瀬川部長、杉原課長が「第25回日韓中小企業商談会」運営打合せのため、韓日財団、商談会会場他訪問。(13日まで)
20日(金)	「第22回 Winter Institute」報告会及び修了式開催。(於：つくば二の宮ハウス、研究生3名、今井常務理事、大本課長代理、韓国研究財団、JISTEC 出席)
21日(土)	「第22回 Winter Institute」研究生、韓国に帰国。
25日(水)	「日韓第3国共同進出研究ミッション」実施。(日本側参加者11名、韓国側参加者1名、28日まで)
27日(金)	平成26年度事業評価懇談会実施。(於：韓日財団会議室、実習生8名、今井常務理事、韓日財団出席)
3月18日(水)	第16回日韓新産業貿易会議開催。(於：ロッテホテルソウル、19日まで)
27日(金)	平成26年度第3回理事会 (決議の省略の方法による)
	決議事項
	第1号議案 平成27年度事業計画(案)承認の件
	第2号議案 平成27年度収支予算(案)承認の件
	第3号議案 職員退職金支給規則一部変更の件
	以 上